



### 夢に向かってチャレンジした卒業生による「ふれあい授業」



## 感性育み夢かなえて

### 声優さんの 母校の石川中で講話

弘前

弘前市の石川中学校 校卒業生で声優の棟方真梨子さんが「ワクワクプロや地域の社会人の講話を聞く「ふれあい授業」が行われた。同日、第一線で活躍する真梨子さんが「ワクワクしながら生きよう」の演題で講話し、生徒たちは感性を育むことの大切さを学んだ。

ふれあい授業は「子供達を支援する会」(工藤良憲会長)が主催し、今年で21回目。

同校では、「弘前が好きな夢に向かってチャレンジする子」を育成する「ひろさき卍学」の取り組みに絡めて実施している。

授業には、同校の全校生徒89人と石川小学校の5、6年生43人が参加。講話の前に、棟方さんが出演する「アロロと少年」「どろろ」などのアニメや映画、海外ドラマが紹介された。

棟方さんは、声優になることを決意した中

学時代から現在までを振り返り、「つらい経験も、すべてが表現を豊かにする上で役立っている」と力説。「心引かれることが夢をかなえる原動力になる。積極的に取り組んで」と呼び掛けた。

同中生徒会長の白戸公紳君は「わくわくすることにはたくさん触れ、自分の夢をはっきり見つけようという気持ちになった」と感想を述べた。(船越太郎)

11月29日(金)、石川小・中学校の卒業生で現在、声優として活躍されている棟方真梨子さんを講師として、21回目の「ふれあい授業」が、「子供達を支援する会」との共催で行われました。「ワクワクしながら生きよう」というテーマでお話ししていただき、子供達は「生き方」や「夢」について学ぶことができました。「ふれあい授業」は、「弘前が大好きで夢に向かってチャレンジする子」を育てることを目的とした「ひろさき卍学」の一環として行われています。彼女は、中学生の時から「声優になりたい」という夢をもち、それに向かってチャレンジし、楽しみながら努力をして、その夢を叶えた人です。また、活動舞台は東京ですが、ふるさとが好きで、今も夢を膨らませている人です。「ふれあい授業」と「ひろさき卍学」の趣旨にピッタリ合う人ではないか、と前々から考えていた中学校校長が、教え子である彼女に講師を依頼したところ快く引き受けていただき、今回の「ふれあい授業」が実現しました。彼女は現在「81プロデュース」という事務所に所属し、海外ドラマ(『ウォーキング・デッド』『マーベルランナウェイズ』等)、アニメ(『トロン:ライジング』『Lost in OZ』等)、映画(『Mr.ホームズ 名探偵最後の事件』『フルスロットル』『セブン・サイコパス』等)など、多数の作品に出演しています。



生徒の質問に答える真梨子さん

# 福岡県大野城市中学校長会による研修視察



12月2日(月)、福岡県大野城市中学校長会(大野中学校、大野東中学校、大利中学校、平野中学校、御陵中学校)の5名の校長先生方が中学校を研修視察に訪れました。大野城市は弘前市とは直線距離で約1,250km離れており、福岡市の南東隣に位置している同市のベッドタウンとなっている人口約10万人の都市です。中学校社会科歴史の教科書にも記載されている「大野城跡」でも有名です。大野城市には

5つの中学校と10の小学校があり、7年前からコミュニティ・スクールが導入され、小中連携にも力を入れているそうです。この度は、中学校校長から「教育自立圏」の一環として取り組んでいる小中連携・一貫教育に関することやコミュニティ・スクールに関する事などについて説明し、情報・意見交換を行いました。地域コーディネーターの在り方や公民館のことについて話題になり有意義な時間となりました。中学校体育館で実施していた、中学校1年生が小学校5年生に対して行う地域職場体験発表会も参観していただきました。



# 令和元年度第3回学校運営協議会



12月3日(火)、第3回学校運営協議会が小学校において行われました。概要についてお知らせします。

- 1 小学校1年～6年生の授業参観  
※当日は保護者授業参観を兼ねていました。
- 2 石川小・中学校の現状と課題(2学期の状況)
  - (1) 学習の状況
    - ・県学習状況調査(速報値)(小5・中2)等の結果について
    - ・学習や集団の様子について

## (2) 生徒指導等の状況

いじめ、不登校傾向、問題行動、特別支援教育、情報モラル指導について  
※スマホ等の所持率、持ち始めた時期、家庭のルールの傾向について  
→早期の指導、保護者への啓発が今後益々重要である。

## 3 教職員の状況

※小中学校共に病休等の職員は現在なし。

## 4 学校行事の様子

※小中共に目指す児童生徒像に近づく契機となっている。

## 5 小中一貫教育、CSに係る取組について

- ・小中合同健康マラソン、小中合同マラソン記録会、小中合同合唱、小中合同音楽鑑賞会など合同行事が成果をあげている。
- ・学校支援ボランティアの活用について(小学校読み聞かせ、小学校5年生市内自主見学、中学校書道、三味線の指導)

## 6 情報交換

○石川小・中学校の学校整備に関する学校と学校整備課との意見交換(11月26日実施)の概要について報告

※学校側から主に要望したこと

- ・新中学校アリーナ(兼武道場)の建設
- ・小学校新グランド設置場所の検討、しっかりした暗渠工事
- ・新校舎の職員室、教室、特別教室の設備等について
- ・児童館の設置場所について
- ・新校舎の構造、デザイン、特色ある学校に関する事 など多数



老朽化が進んでいる武道場